

「新総合防災情報システム（SOBO-WEB） アイデアソン2024」に関するご提案



東京ガスネットワーク



東京電力パワーグリッド



NTT
東日本

- 昨今の甚大な台風被害や、今後想定される首都直下型地震等の激甚化する大規模自然災害に備えるため、ライフラインの更なるレジリエンス強化が必要とされています。
- このような中、インフラ事業者における社会課題解決によるサステナブルな循環型社会の確立を推進するため、**2022年11月、3社で『インフラ事業における「持続安定化」や「地域価値向上」に資する取り組みの推進を目的とした連携協定』を締結しました。**
- 協定に基づき、災害等発生時は3社で**共同災害対策室の設置を行い**、情報連携を図りながら災害対応を実施しています。

(Innovation)
**豊かな未来に向けた
イノベーション**
ICT技術・豊富な人材とともに新たな社会を実現
(スマートインフラシティ 等)

連携協定締結により、**各社事業の強みを活かす**とともに、
相互連携による地域価値向上に資する取り組みを推進

(Stabilization)
インフラ基盤の持続安定化
暮らしを守る使命を担い続ける
(災害・電力供給・安全連携 等)

(Solution)
社会価値の向上
培った技術・ノウハウによる新たな価値を提供
(インフラ基盤の共通プラットフォーム 等)

データ連携により自治体の災害対応活動に貢献

- **3社の共同災害対策では、災害対応の効率化や迅速化を目的として、各社で保有している被災状況等のデータのシェアを一つ、一つのシステムに重ね合わせ可視化する試み**をしています。
- ただし、現状では各社での社内システム上に相互のデータを共有しマッピングをするため、重ね合わせに時間を要し情報共有および判断にタイムラグが生じることや、データの共有が3社間のみの閉塞された情報となってしまうことが課題です。
- このため、**各社で保有している情報をSOBO-WEBに集約し、即時に可視化するとともに自治体を含め広く共有することで、自治体と連携した詳細な被災・復旧状況の把握および地域の総合的な復旧計画が可能**と考えています。
- 共有するデータについては、各社HP公開しているもののほか、独自の社内システムの情報を含め幅広く検討しています。
(SOBO-WEBでの限定公開の活用を検討中。)

各社公開する被害情報・復旧情報

東京電力PG

市区町村ごとの停電情報・復旧情報



詳細な被害状況、復旧状況の可視化

東京ガスNW

地域ごとの供給停止・復旧情報

地震発生時にガスの供給・復旧状況をお知らせする「復旧マイマップ」



細分化した地域ごとに供給停止・復旧

NTT東日本

地域ごとの通信故障情報・復旧情報



詳細な被害状況、復旧状況の可視化

- 「この道路が啓開された場合、インフラが●件復旧可能」、「停電エリアの避難所について、バッテリー電源の枯渇が○時間後」などの要望や状況をSOBO-WEB上で各自が発信するなど、単なる情報連携にとどまらず、**SOBO-WEBを災害対応のためのコミュニケーションの場として活用したい**と考えています。**これによりToDoや優先順位を明確にし、官民連携による効率的な災害対応を実現**できます。
- 将来的には、ドローン画像と被害推計システムを組み合わせた被害甚大地区の自動判定など、技術発展を適宜取り入れ、**即時性という観点等でSOBO-WEBのアップデート**を図っていただき、これに連動して我々インフラ事業者の**復旧活動の効率性もアップ**していきたいと考えています。

